



### CONTENTS 【目次】

- 2面 ● 防災意識の高揚  
● AEDを用いた救命
- 3面 ● 県からのお知らせ  
● 県政トピックス
- 4面 ● 地域のおたより  
● 県政一問一答

〒320-8501 宇都宮市堀田1-1-20  
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 **2,014,887人** (前月比+609人、前年同月比+998人)  
●男1,000,668人 ●女1,014,219人  
●世帯数714,519世帯 (7月1日現在)



益子芳星高校の生活デザインコースでは、約20台のろくろと焼成窯を使用し、陶芸を基礎から学び、豊かな表現力を身につけます。地域の特色を生かした授業が行われています

## 県立高校再編の今。

### 特色ある新しい高校へ

県は、新しい時代を担う人材を育成するため、「県立高等学校再編計画」をまとめ、県立高校の再編を行っています。魅力と活力ある県立高校づくりを行い、積極的に社会に貢献できる人づくりを目指します。

### 魅力と活力ある 県立高校づくり

県立高校は、全日制が七十校、定時制が十二校、通信制が二校あります。専門学科、普通科、総合学科の三つに分かれ、約四万六千人の生徒が学習しています。県立高校再編計画では、総合学科高校や総合選択制高校などの新しいタイプの学校を設置したり、各校の特色を生かした科目を設置したりするなど、魅力ある学校づくりを行うこととしています。また、規模や配置の適正化をすすめるため、学校の統合を行い、たくさんの生徒が一緒になって学習したり学校行事に取り組んだりできるような活力あ



来年開校する「高根沢高校(仮称)」は、普通科と商業科を併設する総合選択制高校です

る学校づくりを行うこととしています。県は、生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に合った教育環境を整備し、魅力と活力ある新しい県立高校づくりをすすめています。

### 新しい小山城南高校でかけがえのない 高校生活を過ごしませんか



小山城南高校  
上野校長

来年、「小山城南高校」は、男女共学の総合学科高校としてスタートします。総合学科では、生徒は自分の進路や興味・関心に合わせて、「自然科学」や「生活・福祉」、「芸術」など5つの分野から、学習する科目を選択します。また、共学化に向けて、武道場やサッカーグラウンドなどを整備します。特に、男子中学生に総合学科の魅力をもPR

して、一緒に新しい城南高校をつくっていききたいですね。

総合学科の一番の良さは、生徒が自分の進路に合った学習を選択できることです。自分の将来をしっかり見つめながら、かけがえのない高校生活を大切に過ごしてもらいたいと思います。

### 再編のスケジュール

H18	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「栃木翔南高校(仮称)」 藤岡高と栃木南高の統合による普通科高校。きめ細かな学習指導、進路指導のほか、国際理解教育やボランティア活動などの体験的学習に積極的に取り組みます</li> <li>●「さくら清修高校(仮称)」 喜連川高と氏家高の統合校で、総合学科を導入。人文科学、国際・文化、自然科学、数理・生命、情報・サービスの分野から科目を選択して学習します</li> <li>●「小山城南高校」の共学化、総合学科導入</li> <li>●「小山高校(普通科)」の共学化</li> <li>●「高根沢高校(仮称)」 普通科と商業科を設置。生徒は所属の専門教育を受けるほかに、興味・関心、進路に応じて他の学科の科目を学ぶことができます</li> </ul>
H19	<ul style="list-style-type: none"> <li>●足利西高と足利商高の統合、総合選択制導入</li> <li>●宇都宮東高に中高一貫教育導入</li> </ul>
H20	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鳥山高と鳥山女子高の統合、共学化</li> <li>●佐野高に中高一貫教育導入</li> </ul>
H21	<ul style="list-style-type: none"> <li>●粟野高と鹿沼農高の統合、総合選択制導入</li> <li>●小山北桜高の総合産業高校への転換</li> </ul>



日光明峰高校  
渡辺校長

今年四月、芳賀高校と益子高校が統合した益子芳星高校と、学修館高校(栃木市)が開校しました。同じく開校した日光明峰高校は、日光高校と足尾高校の統合による普通科高校です。進学から就職まで生徒の多様な学習ニーズに対応できる五つのコースを設けました。また、ウインタースポーツや観光などの授業を取り入れ、地域の特色を生かした学校づくりが行われています。同校の渡辺校長は「入学者選抜では出願倍率1.1倍となり、入学者数も約五十名増えました。学校行事や部活動が活発になり、学校全体に活気が出てきたことを実感しています。新しい学校について、もっと知っていただけるといいと思います」と話します。

### 活気あふれる 新しい高校に

今年四月、芳賀高校と益子高校が統合した益子芳星高校と、学修館高校(栃木市)が開校しました。

# 日ごろの備えが大切です 災害は突然やってきます

地震や台風、集中豪雨…。災害は突然やってきて、生活やかけがえのない生命までも奪っていきます。災害から身を守るためには、日ごろから災害に備え、一人ひとりが防災の意識を持つことが大切です。

## 一人ひとりが 防災の意識を持って

栃木県は、地震や台風などの災害が比較的少ないと言われています。しかし、平成十年に那須地域を襲った水害は、百年に一度と言われる記録的な集中豪雨でした。災害はいつ起こるか分かりません。災害から身を守るためには、一人ひとりが災害の知識を身につけ、常に防災への意識を持つことが何より大切です。

このため、県では、家庭で非常用品を備えたり、「もしもの時の行動」について話し合ったりすることをすすめています。

また、県では、関係機関と連携して総合防災訓練を実施しています。当日は、自然災害体験や防災に関する

展示を行っていますので、ぜひお越しください。

## 自分たちの地域は 自分たちで守りたい

災害にすぐに対応するためには、住民の皆さんによる組織的な防災活動が重要です。県内には自治会等を中心とした、約二千八百の自主防災組織があります。宇都宮市御幸地区の自主防災会では、防災資機材の管理、防災訓練のほか、災害時の初期消火や救助活動を行います。



御幸地区自主防災会会長  
森崎常正さん

「阪神大震災では、自治



会の組織が機能していたところと、そうでないところ、明暗が分かれました。このため、自分たちが住む地域を自分たちで守ろうと防災会を立ち上げました」と話すのは会長の森崎さん。年一回の防災訓練のほか、自治会や婦人防火クラブと連携して活動しています。また、独り暮らしの高齢者や外国人の方などの情報も把握し、災害時に備えています。森崎さんは「仲間意識を持って協力し合うことで、被害を最小限にできま」と地域での防災の大切さを話してくれました。

## 県の備えは

県は、大規模な災害が発生した時に備えて、食料や生活必需品、医薬品などを備えています。約七万食の食料、二万四千枚の毛布、二千四百個の簡易トイレなどを、県内三カ所の倉庫に備蓄しています。

また、実際に災害が発生した際には、早急に災害対策本部を設置し、的確・迅速な初期応急活動ができるよう体制を整えています。

## 防災訓練を見学してみませんか



昨年の訓練(日光市)

- 9/4(日) 午前9時~正午ごろ
- 栃木市総合運動公園
- 栃木市を中心に震度6強の地震が発生したという想定。ヘリコプターによる救急輸送、倒壊家屋からの救助、防災に関する展示、自然災害体験、非常食の炊き出しなどを行います
- 問合せ 県消防防災課 ☎028-623-2136



消防・防災ヘリコプター「おおるり」救助活動や山火事消火で活躍中

## 自分の身は自分で守ろう

### 1 家庭で防災会議を開こう

家族の役割分担を決めて、避難場所・道順を確認!

### 2 災害伝言ダイヤル「171」を活用しよう

電話が通じなくなったら、災害伝言ダイヤル「171」で家族の安否を確認

### 3 家具の転倒、ガラスの飛散を防ごう

タンスや本棚などが倒れないよう金具などで固定する。ガラスが割れて飛び散らないようフィルムを張る

### 4 非常用品を備えよう

食料や水は3日分程度、ラジオや笛、懐中電灯も準備! 非常持出品の問い合わせは栃木県消防設備保安協会(☎028-625-4611)へ



## 災害復旧を支える人々

### 応急危険度判定士

地震で被災した建物の安全性を判断するのが、応急危険度判定士。新潟中越地震では、建築士会や建築設計事務所協会から45名が参加しました。判定士は、被災した家一つ一つを、限られた時間でできるだけ多く調査しました。新潟は雪国のため、建物の基礎が高くしっかりしたつくりの家が多く、地震の規模から比べると被害は少なかつたようです。しかし、古い家や地盤が弱い所では全壊しており、地震のすさまじさを肌で感じました。また、震災後の11月に約100名の建築士が新潟で住宅相談会に参加し、改修方法などのアドバイスを行いました。



建築士会では、ご自宅の耐震性や地盤に不安がある方のための無料相談なども行っていますので、ぜひご利用ください。  
※住宅無料相談  
栃木県建築士会  
毎月第1・3金曜、午後1時~  
☎028-639-3150(要電話予約)  
栃木県建築士会専務理事  
半貫一芳さん

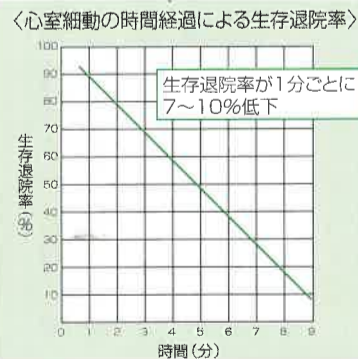
### 災害ボランティア

新潟の水害と地震で11回のボランティア活動を行いました。災害時には、まず、現地に行き情報収集します。被災地では必要な物が日に日に変わりますから。そして、市民の方々からの活動義援金をお預かりし、現地のニーズに合わせ必要なものを必要な場所に届けました。企業からはうどんや納豆などの差し入れをいただき、現地で喜ばれました。ボランティアの形はさまざまですが、小さな事でも被災された方の役に立てるとうれしいですね。

これからボランティアをしてみたい方へ「ボランティアは素早い活動と自己責任が大切」と伝えたい。また、ボランティアを通じて人の輪が生まれました。多くの出会いを大切に、これからも活動を続けたいです。



那須塩原市ボランティア連絡協議会長  
安宅ミチ子さん



今までは、AEDの使用は医師や救急救命士などに限られていました。しかし、生命の危険がある不整脈で倒れた人を救うためには、

## 素早い対応が有効

日本国内での心臓突然死は、年間約五万人と言われています。心臓突然死とは、突然心停止となり死に至る病気で、その中で特に多いのは急性心筋梗塞です。そして、心臓が停止する直接の原因は「心室細動」という不整脈が大部分です。この突如襲う心臓突然死から身を守るべく、AED(自動体外式除細動器)です。これは、心室細動を起こしている人の胸に電極パッドを張り付け、電気ショックを与えることで、心臓を正常な動きに戻すことができるものです。

## AEDとは

## 知っていれば安心です

# AEDを用いた救命

## より多くの場所にAEDを

現在、愛知県で行われている「愛・地球博」会場では、三名の方がAEDを使用した命を取り留めています。心臓突然死は場所や時間を選びません。県や市町村の公共施設はもとより、多くの人が利用する施設にAEDが設置されることが期待されています。なお、一般の方を対象とする講習会は各消防本部と日赤県支部で実施しています。各消防本部または日赤県支部(☎028-6222-4801)にお問い合わせください。



県総合文化センターに設置



鹿沼市内で行われた講習会のようす

【問合せ】県消防防災課 ☎028-623-2136

【問合せ】県医事厚生課 ☎028-623-3157

## 募集

### とちぎ元気フォーラム開催 ～知事との対話集会に参加しよう～

●9/17(土)午後1時30分～●那須町文化センター●県民の皆さんと知事との対話集会を開催●県政に関することならどんな話題でも結構です。お気軽にご参加ください  
●応募資格 県内に在住・通勤・通学する方  
●応募方法 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業(学校名)・託児希望の有無を、9/5(月)までに電話・はがき・FAX・Eメールで  
◎あて先・問合せ 〒320-8501県広報課 ☎028-623-2158 [FAX]028-623-2160 [e]kocho@pref.tochigi.jp

### 知的障害者向け職業訓練を受講してみませんか

●就職に役立つ販売実務の基礎的な知識や技能の習得●会場 栃木県開発センタービル(宇都宮市)●訓練期間 10/7(金)～H18/3/15(水)●対象 療育手帳を取得している方など●定員 10名●入校選考日 9/14(水)●申込締切 9/6(火)●県央高等産業技術学校販売実務科☎028-622-5886

### 県立がんセンターでボランティアをしてみませんか

●活動内容 ①患者さんのための図書の整理を行う「図書ボランティア」②外来を受診される患者さんを案内する「外来ボランティア」③緩和ケア病棟で病棟行事のお手伝いをする「緩和ケア病棟ボランティア」●申込みは電話で 同センター☎028-658-5794

### 「北方領土に関する標語・ポスター」の募集

●8月は北方領土返還要求運動全国強調月間です●(標語の部)ハガキに作品を記入(ポスターの部)画用紙などに5色以内の作品●会長賞ほか参加賞あり●応募締切 9/30(金)●県国際交流課☎028-623-2198

### とちぎ花のまちづくりコンクール

●花や緑による美しい景観づくりなどの活動を募集しています●応募締切 10/31(月)●応募方法など詳細は問合せを 県生産振興課☎028-623-2329

### 「とちぎ花街道マップ」を作成しました

●「とちぎ花のまちづくりコンクール」の優良事例や花のスポット・施設などを紹介しています。10,000部限定で無料で配布します●ご希望の方は、県生産振興課(☎028-623-2329)まで



### 「小学生公園絵画展」作品募集

●公園に行って遊んだり見たり感じたりしたこと、つくってほしい公園や未来の公園などを絵にしてください●応募資格 小学生●応募締切 9/9(金)●県公園事務所☎028-658-0128

### きのこ・山菜料理コンクール

●本県産のきのこ・山菜を使った創作料理を募集●応募条件 1作品(4人分)の材料費が2,000円以内で、調理時間が1時間以内の未発表作品●対象 ジュニアの部/中学生以下の方、一般の部/高校生以上の方●応募締切 9/2(金)●詳細は問合せを 栃木県特用林産協会☎028-623-3271

### 県民参加ミュージカル「ひとしずくのミルク」をご鑑賞ください

●11/3(木)～6(日)に壬生町で開催される「とちぎファームフェスタ2005」を記念したオリジナルミュージカル。酪農家の娘と牛たちとのふれあいを、県内の子どもたちが歌とダンスで表現します●①9/3(土)県総合文化センター(宇都宮市)②9/25(日)足利市市民会館③10/9(日)那須塩原市黒磯文化会館●午後2時30分開演●入場無料●応募方法 会場名・人数・住所・氏名・年齢・電話番号・性別を記入しハガキで 応募締切 ①8/20(土)②9/19(月)③10/2(日)◎あて先・問合せ とちぎファームフェスタ「県民参加ミュージカル」事務局(〒320-8686 宇都宮市昭和1-8-11)☎028-625-1134



## 講座・催し

### 青果物マーケットマッチメーカー養成講座受講生募集(全10回)

●青果物の生産と需要を直接結びつける仕掛人の養成講座を開催します●9/27(火)～H18/3/10(金)の月2回程度(全10回)●対象 県内在住の青果物の生産・流通・販売のいずれかに携わる方●定員 30名●受講無料(資料代15,000円ほか)●応募締切 9/2(金)●申込方法など詳細は問合せを 県生産振興課☎028-623-2328

### 児童虐待に関するシンポジウムを開催

●9/12(月)午後1時15分～4時30分●とちぎ健康の森(宇都宮市)●講演「子どもの権利擁護サービス～地域における児童家庭相談体制の充実～」など●定員 先着400名●参加無料●申込締切 8/31(水)●託児あり(要予約)●県児童家庭課☎028-623-3061

### 国際キャリア・合宿セミナー2005 シンポジウムを開催

●9/23(金)午後1時～4時30分●栃木青年会館コンセール(宇都宮市)●明石康さん(元国連事務次長)の基調講演など●定員 300名●参加無料●申込不要●宇都宮大学就職支援室☎028-649-5084

### とちぎ就職支援センター からのお知らせ

◎就職基礎能力速成講座 ●9/27(火)～10/7(金)の9日間、午前9時30分～午後4時●宇都宮市東コミュニティセンター●ビジネスマナーやコミュニケーション能力を高めて就職のための基礎固めをしよう●対象 35歳未満の方(学生は除く)●受講無料●定員 先着20名●申込締切 9/21(水)  
◎「若者就業体験事業」受講生を募集します ●県内の企業で職場実習をしよう●研修期間 2週間以内●対象 35歳未満の方(学生は除く)●申込み後、事前研修を受けていただきます●とちぎ就職支援センター☎028-623-3226

### 自然体験活動リーダー養成講座

●9/30(金)●県立なす高原自然の家●那須岳登山やうどん打ちなどをしながら、子どもたちの自然体験活動を支援するリーダーを養成します●対象 団体指導者の方など●参加費 3,500円ほか●定員 先着40名●申込締切 9/22(木)●同自然の家☎0287-76-6240

### ジュニア・シンクロ講習会

●9/10(土)・11(日)午前10時～正午●県体育館プール館(宇都宮市)●対象 小3～高校生でクロールなどで25m以上泳げる方●参加費 3,000円●申込締切 9/2(金)●栃木県水泳連盟シンクロ委員会☎028-635-1560

### 林業センター公開デー

●8/21(日)午前10時～午後3時●試験研究をパネルで紹介●新しい栽培きのこハタケシメジをプレゼント(午後2時30分より先着順)●同センター(宇都宮市)☎028-669-2211

### 農業試験場公開デー

●8/27(土)午前9時～午後3時●研究成果の展示と試験の紹介やもちつき大会、なしの試食●同試験場(宇都宮市)☎028-665-1241

### 水産試験場公開デー

●8/28(日)午前10時～午後3時●試験研究成果の展示やアユの塩焼き試食(先着1,000名)●同試験場(湯津上村)☎0287-98-2888

### 県立図書館の催し

◎子どもの本のつどい ●①8/25(木)②9/10(土)、午後2時30分～3時●絵本の読み聞かせ●同館☎028-622-5112

### 県立足利図書館の催し

◎記念講演会「残したい日本の文化」 ●9/24(土)午後1時30分～3時30分●桐谷逸夫、エリザベスさんの講演●参加無料●定員 先着150名●申込期間 8/16(火)～9/23(金)●同館☎0284-41-8881

## 案内

### 特別障害給付金の制度が始まりました

●この給付金は、国民年金に任意加入していないことにより、障害基礎年金などの受給権をお持ちでない方に対して、給付する制度です●請求書の受け付けは始まっていますので、該当すると思われる方は、お住まいの市町村年金窓口にお早めにご相談ください。なお、給付金は請求書が受け付けられた月の翌月分から支給されます●県障害福祉課☎028-623-3491

### 特別児童扶養手当を受給されている方へ

●この手当を受給されている方は、前年(平成16年)の所得状況をお住まいの市町村福祉担当課へ提出ください●提出期間 9/12(月)まで●県障害福祉課☎028-623-3020

### 児童扶養手当の現況届を忘れずに!

●受給資格のある方は(全部停止の方も)、現況届をお住まいの市町村福祉担当課へ提出ください●提出期間 8/31(水)まで●県児童家庭課☎028-623-3067

### 勤労者向けの融資制度をご利用ください

◎勤労者生活資金 ●一般勤労者向け(年利2.0%)●失業者向け(年利1.2%)  
◎育児・介護休業資金 ●育児・介護休業取得者のための生活資金貸付(年利1.6%)●県労政課☎028-623-3218

### 高齢者を狙う悪質商法に注意しましょう

●高齢者を狙って、高額な健康食品を売りつけたり、不必要なリフォーム工事をさせたりする悪質な業者が増えています  
ー被害に遭わないためにー  
●セールスマンなどを簡単に家に入れない  
●必要がないときは「いいえ!」とはっきり断る  
●その場ですぐ契約しないで、家族や友人にご相談を!  
※県消費生活センターでは、悪質商法への対処方法についての出前講座も行っていきます。詳細は問合せを 県消費生活センター☎028-665-7733

## 核兵器を廃絶し 世界平和を実現しよう

1945年(昭和20年)、広島と長崎に投下された原子爆弾は、瞬時に10万人以上の生命を奪いました。この2つの原子爆弾の放射線被ばくの影響が今なお続いています。

このように世界唯一の被爆国として、核兵器の廃絶を国民的悲願としているわが国は、非核三原則を堅持するとともに、全世界に平和と軍縮を訴え続けています。

本県では、第180回県議会定例会において「核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に関する意見書」を全議員一致で採決し、政府に対してその実現と世論の喚起に努めるよう要望しています。

今年は、戦後60年という節目の年です。この機会に核の廃絶と世界の恒久的平和の実現への認識をさらに深めていきましょう。

(県企画調整課)



「これからも身近な自然をテーマに制作を続けていきたい」と話す勝城さん

大田原市にお住まいの竹芸家・勝城一二さんが、人間国宝に認定されることに内定しました。勝城さんは、細く割った竹ひごを編み組みして、多くの作品をつくっています。作品の主題に合わせてさまざまな竹素材を使いこなし、現代感覚あふれる個性豊かな作品を確立しておられます。評価を高く得ています。

自生している「ハタケシメジ」は、味や食感が良いものの栽培が難しいとされてきました。県は、このハタケシメジの栽培方法の特許と、新しい品種の登録を希望しました。新しい品種は形状が良く、安定した収穫量が得られます。また、新しい栽培方法は、剪定枝葉を堆肥化したものを利用することで、栽培期間を短縮できます。このため、今後は県内での産が期待されます。



8/21(日)に開催する林業センター公開デーでは、試食もできます(上記お知らせ参照)

## 県政トピックス

1 竹芸家の勝城さん 人間国宝へ

2 新しい栽培きのこ 「ハタケシメジ」

## 県政 一問一答

### 赤ちゃん

Question Answer

**Question**

近年、テレビなどで不妊治療を取り上げた番組を目にすることがあります。私の周りにも、子どもが欲しくてもできずに悩んでいる夫婦がいます。不妊治療についての相談や治療費の助成など、不妊に悩む方への支援をお願いしたいのですが。

**Answer**

県では、不妊治療の中でも医療保険が適用されず、医療費が高額の体外受精・顕微授精に対し、治療費の一部(1年度あたり10万円・通算2年まで)を助成しています。

不妊治療に関する相談については、「不妊専門相談センター」を開設し、不妊に悩んでいる方々に、面接・電話・メールでの相談に応じています。ここでは、医学的な情報や医療機関に関する情報の提供も行っています。お気軽にご相談ください。

**不妊専門相談センター**  
 宇都宮市野沢町4-1(パーティとちぎ男女共同参画センター内)  
 ☎028-665-8099 [E] funin@parti.jp

## 新「大田原市」

10月1日、大田原市、湯津上村、黒羽町が合併して、新しい「大田原市」が誕生する予定です。全国でも珍しい国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」が生息する自然豊かな環境や国宝「那須国造碑」、松尾芭蕉ゆかりの地など古くからの伝統文化が残る地域です。

面積 354.12km<sup>2</sup>  
 人口 78,245人  
 (7月1日現在の3市町村合計)

### 地域のおたより

**観光ボランティアをしている**  
 直籠さんにお話をうかがいました

観光ボランティア「ふるさとを知る会」では、黒羽町の史跡や芭蕉ゆかりの句碑、隠れた見所を案内しています。「ふるさとをもっと知りたい、そして他の人にも知ってもらいたい」というのが活動のきっかけ。会では、紙芝居などで民話を紹介したり、旬の観光情報をお届けするテレフォンサービス(☎0287-54-2020)を行ったりしています。

那珂川の涼風に吹かれながら、あつあつのアユを食べるのがいい季節です。ぜひ、遊びに来てください。

**観光スポット**

**なかがわ水遊園**  
 ●那珂川にすむ魚たちなど約230種を展示。たくさんの魚たちとの出会いに子どもも思わずにっこり ●8/31(水)まで夏の特別イベントを開催中 ●午前9時30分～午後5時 ●観覧料 大人600円、子ども250円 ●8/31までは休まず営業 ●同園 ☎0287-98-3055

**黒羽町芭蕉の館**  
 ●芭蕉にかかわる資料や黒羽藩主大関家の資料を展示 ●特別企画展「黒羽町の文化財」9/19(月)まで ●午前9時～午後5時 ●観覧料 大人300円 ●月曜休館(祝日の場合は翌日) ●同館 ☎0287-54-4151

**道の駅那須与一の郷**  
 ●4つの大きな扇型の屋根が目印 ●地元の新鮮野菜や農産物加工品、地元産大豆をつかった豆腐の販売も ●11月までは無休 ●道の駅那須与一の郷 ☎0287-23-8641

## 自然とふれあう

**日光自然博物館**

◎満点の夜空を味わおう!～夕暮れから楽しむ奥日光 ●9/17(土)午後7時～9時30分 ●対象 小学3年生以上 ●定員 30名(抽選) ●参加費 大人500円、子ども250円 ●申込締切 9/3(土)

◎観察会「徹底的虫遊! テッテイテキムシアソビ」 ●普段見ているあの虫たちと遊びながら調べてみよう ●9/18(日)午前9時～午後0時30分 ●定員 15名(抽選) ●参加費 大人500円、子ども250円 ●申込締切 9/4(日) ●同館 ☎0288-55-0880

**県民の森「森の集い」**

◎宮澤賢治～ゆかりの植物 ●宮澤賢治にゆかりのある植物について、講話やハイキングで学ぼう ●9/22(木)午前9時～正午 ●定員 先着30名 ●参加無料

◎初秋のミツモチ山に登ろう ●登山や自然観察を楽しもう ●9/10(土)午前9時～午後3時30分 ●定員 先着40名 ●参加無料 ●同管理事務所 ☎0287-43-0479

**芳賀青年の家の催し**

◎アドベンチャースクール ●カヌー体験やものづくり、野外炊飯、キャンプファイヤーなどを体験しよう ●9/17(土)～18(日)1泊2日 ●対象 小・中学生とその保護者 ●定員 10組(抽選) ●参加費 3,300円 ほか ●申込締切 9/7(水) ●同青年の家 ☎0285-72-2273

蝶々からの花便り

アサギマダラとヒヨドリバナ VOL.5



私はアサギマダラ。この時期、高原に咲くヒヨドリバナが大好きです。ふわふわと風に乗る、何千キロも旅をするのが私の特技。行く先々でこの白い花が私たちを迎えてくれます。イクマやキジョランなどがガイモ科の草が食草。私に会いたいのなら、明るい草原や林道沿いの開けた場所がいいですよ。

**文化情報**

**子ども総合科学館**  
 宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555 ●月・第4木曜

●夏の企画展 「はかりの国へようこそ～あなたも今日からものさし博士～」 ●9/4(日)まで ●いろいろな物を使ってみましょう ●観覧券が必要です

●あそぼう工房 夏休み企画 「まち☆ちきゅうはく」 ●8/31(水)まで ●「まち」をテーマにした「つくる・あそぶ」プログラムです ●観覧券が必要です

**文化情報**

**県立美術館**  
 宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 ●月曜日

●前衛の女性1950-1975 ●9/11(日)まで ●1950～60年代の前衛芸術運動の熱気の中で活動した女性アーティスト46名の作品を紹介。絵画や彫刻、映像など約220点により戦後の前衛美術と女性の関係を問い直します ●観覧料 一般800円、大学生・高校生500円、中学生以下は無料

福島秀子 「燦然たる凱歌」 1956年 富山県立近代美術館蔵

**文化情報**

**県立博物館**  
 宇都宮市陸町2-2 ☎028-634-1312 ●月曜日

●企画展 「とちぎの歴史街道一みちの世界へ」 ●9/11(日)まで好評開催中

大山藏乗用馬車(当館蔵)

●ワークショップ「街道にタイムスリップ」 ●8/20(土)午後2時～3時 ●参加無料 ●申込みは電話で

●講座「キノコの調べ方」 ●①初級編 9/17(土)②中級編 10/2(日) ●午前10時～正午 ●定員 ①30名②20名 ●参加無料 ●申込みは電話で

**文化情報**

**県総合文化センター**  
 宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

●ダモイ～収容所(ラーゲリ)から来た遺書 ●8/19(金)午後7時開演 ●出演/平田満ほか ●戦後シベリアに抑留された男たちの物語です ●指定席3,000円 ●当日券あり

●小椋佳 「歌談の会」 ●9/4(日)午後6時開演 ●指定席4,500円 ●好評発売中

●佐々木愛朗朗読劇「錫杖(しゃくじょう)の花～勝道上人物語」 ●10/29(土)午後3時開演 ●自由席3,000円 ●好評発売中

**ご意見募集!**

「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で20名の方に、栃木県の美しい風景を満載した好評の写真集「とちぎ春夏秋冬」を差し上げます。官製ハガキに住所・氏名・年齢・ご意見を記入の上、次のあて先までお送りください。

〒320-8501 県広報課  
 「とちぎ県民だより」係

**information とちぎテレビ**

## 県の広報番組

**なるほど! とちぎ** ●毎週土曜9:00～9:30 ●(再)日曜20:00～20:30

8月20日 お父さんもういっしょ! ～父親の育児参加～  
 27日 未来に残したい農村の景観 / インターネットっていいんだねっ!  
 9月3日 ●8/31(水)まで ●「まち」をテーマにした「つくる・あそぶ」プログラムです ●観覧券が必要です  
 10日 伝統工芸

**クローズアップとちぎ** ●毎週日曜9:00～9:30 ●(再)月曜22:00～22:30

8月21日 とちぎ発! 地域ブランド食品の開発  
 28日 5年に1度の大イベント ～10月1日国勢調査～

9月4日 救急の日  
 11日 保安林の役割

**とちぎのオンリーワン** ●毎週月曜18:13頃～「イブニング」内

8月22日 (株)測量技研  
 29日 草木染  
 9月5日 (株)テクノ産業  
 12日 日本一の「あさ」

**県政ひとくちメモ** ●毎週水曜18:13頃～「イブニング」内

8月18日 ジュニア知事さん作品募集  
 25日 農業試験場公開デー

9月1日 秋の交通安全県民ぐるみ運動  
 8日 AEDの普及  
 15日 健康診査を受診しましょう

**とちぎ教育新事情** ●毎週日曜10:10～10:30 ●(再)月曜12:05～12:25

8月21日 学悠館高校～施設紹介～  
 28日 県立学校紹介～足利女子高校～  
 9月4日 とちぎの民俗芸能～足利市・梵天祭り～  
 11日 県立学校紹介～真岡高校～